



# 株主通信

## 2020年12月期第2四半期業績のご報告

(2019年10月1日～2020年3月31日)

本株主通信は2019年9月末時点での株主の皆様にお送りいたしますことをご了承ください。

### 株主・投資家の皆様へ

株主の皆様には日頃より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。また、新型コロナウイルス感染症によりお亡くなりになられた方々に謹んでお悔やみを申し上げますとともに、罹患された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

半導体市場においては、次世代通信規格（5G）や人工知能（AI）、IoT等の分野において半導体消費が増加するとの見通しから、需要は底堅く推移しています。また、新型コロナウイルス感染症の拡大により、一部のデバイスは需要面で影響を受けましたが、世界各国において外出等が制限されたことで、在宅での勤務や学習、ビデオストリーミングサービスの利用等が一般化し、データセンターに関連する需要が増大しました。

このような状況において、当社グループは、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に関する日本及び各国政府や各自治体の要請を遵守するよう社員に周知徹底するとともに、製品やサービスの供給、提供に向けて責任ある対応に努めてまいりました。

現段階（2020年6月10日時点）では、当社グループ社員に感染者は確認されておらず、国内外の生産拠点もほぼ通常通り稼働しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高16,096百万円、営業利益1,041百万円、経常利益1,086百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益872百万円となりました。

今後も状況に応じた適切な対応、迅速な情報開示に努めてまいりますので、株主の皆様におかれましては、引き続き、ご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2020年7月

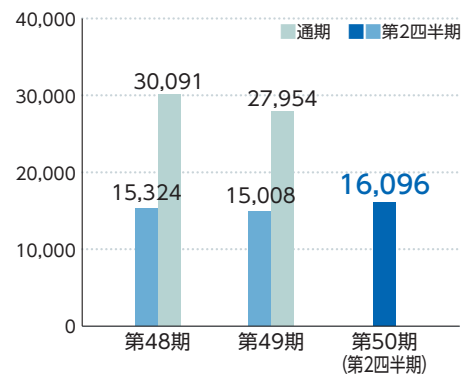
代表取締役社長 **長谷川 正義**

※「新型コロナウイルスの対応」についての詳しい情報は、当社ウェブサイトをご覧ください。

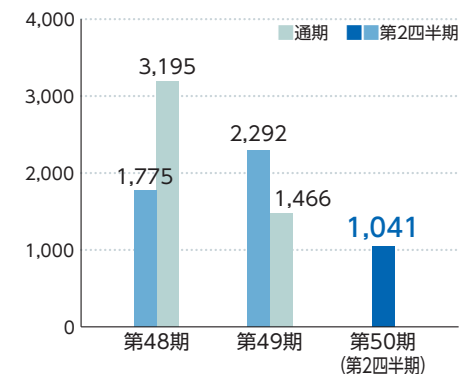
<https://www.mjc.co.jp/>



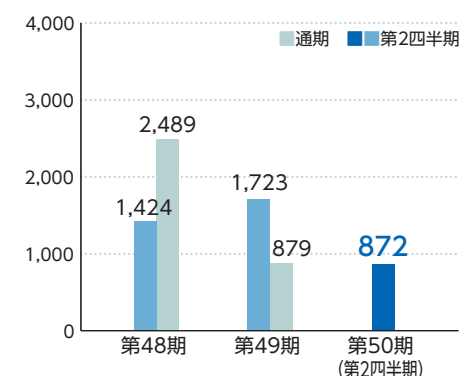
### 売上高(百万円)



### 営業利益(百万円)



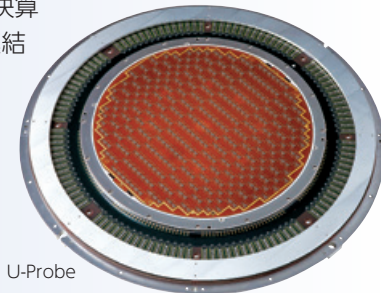
### 親会社株主に帰属する四半期/当期純利益(百万円)



## 営業の概況

### プローブカード事業

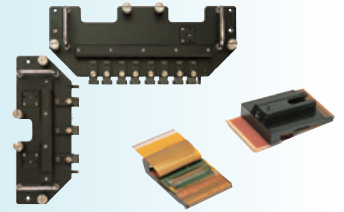
売上高は、ロジック向けやNAND向けが低調でしたが、DRAM向けが引き続き高需要となり、総じて増加しました。一方、利益面におきましては、決算期統一により連結子会社の連結対象期間を9ヶ月間としている影響等で、コストが一時的に増加しました。この結果、売上高は15,019百万円、セグメント利益は1,999百万円となりました。



U-Probe

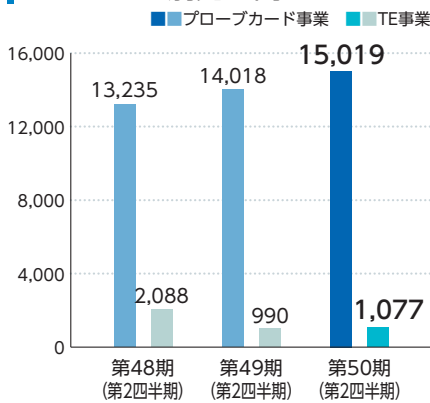
### TE事業

売上高は、プローブユニットが安定的なビジネスを継続していることから堅調に推移したものの、FPD及び半導体関連の装置が伸び悩み、低調となりました。この結果、売上高は1,077百万円、セグメント利益は86百万円となりました。

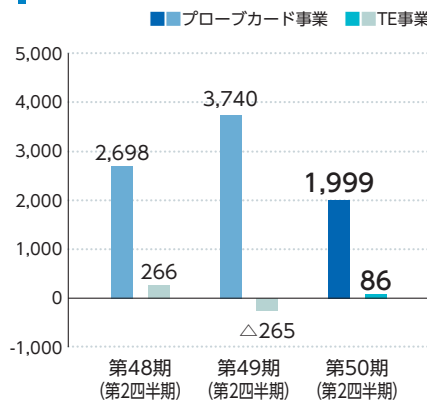


プローブユニット

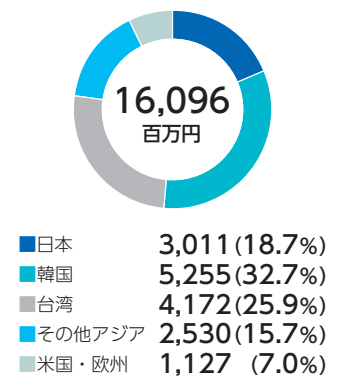
#### セグメント別売上高(百万円)



#### セグメント利益(損失)(百万円)



#### 地域別売上高構成比(百万円)



\*セグメント利益(損失)には、全社費用は含まれません。

## 業績予想 (2020年5月14日現在)

#### 売上高

第3四半期(累計) **24,300** 百万円  
第4四半期(累計) **31,800** 百万円

#### 営業利益

第3四半期(累計) **2,000** 百万円  
第4四半期(累計) **2,300** 百万円

#### 親会社株主に帰属する四半期純利益

第3四半期(累計) **1,700** 百万円  
第4四半期(累計) **1,900** 百万円

\*決算期変更により、当期は15ヶ月(5四半期)決算となります。したがって、第4四半期(累計)は通期ではございません。



創業50周年を迎えるにあたり、5回にわたってMJCの歴史を振り返ります。

### 第2回 技術の進化と製品の歩み～半導体検査機器

創業当時、当社は電子機器のメンテナンスを手掛けていましたが、半導体の将来性に注目し、1973年より半導体検査装置や精密測定機器の開発・販売を開始しました。その後もプローブカードやウェーハプローバなどの半導体検査機器を世に送り出し、プロービング技術を進化させてきました。特に、2005年に開発した「U-Probe」は、世界で初めてウェーハの一括測定を可能にし、半導体製造現場におけるテスト効率の飛躍的向上に貢献した当社の主力製品です。「U-Probe」はお客様のニーズに応えながら改良を重ね、今ではメモリ向けプローブカード世界シェア1位を誇っています。

5GやIoTの時代を迎え、電子製品がさらなる進化を続ける中、半導体とその品質を支える検査の重要性は増しています。当社はこれからも最先端の技術で、これらの検査に必要な製品・サービスを提供していきます。



創業初期に開発された  
プローブカードテスタ

## 株式事務についてのご案内

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
連絡先 東京都府中市日鋼町1-1 電話0120-232-711(通話料無料)  
郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部



本社 〒180-8508 東京都武蔵野市吉祥寺本町2-6-8  
HPアドレス <https://www.mjc.co.jp/>